

# 学校経営・運営ビジョンの取り組み

令和2年11月2日(月)

令和2年度 学校評価資料

福島県立猪苗代支援学校

平素より本校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

今年度はコロナ禍による臨時休業や学校行事の見直しがありましたが、4月からこれまでの学校の取り組みをお知らせします。この資料は、アンケートにお答えいただく際の参考にしてください。

## 学び合う授業づくり

体験的な学習活動を取り入れ、自ら学び、共に学び合いながら将来の生活に必要な力を育てています。

### <小学部>



交流の様子

近隣の小学校との交流及び共同学習を行いました。学年ごとにゲーム等の活動を行い、お互いの良さを知ること、思いやりをもって接することの大切さと喜びを学びました。

さつまいもと小豆を栽培し、小豆の収穫を小学部の子供たち全員で行いました。もちつき会であんこ餅にすることを楽しみに子供たちはみんなで丁寧に小豆を収穫していました。



畑の学習の様子

### <中学部>



宿泊学習、野外炊飯の様子

宿泊学習は磐梯青少年交流の家で行い、1日目はいなっ子まつりで上映するコント劇の衣装を全員で着けて、野外ロケーションを敢行しました。

2日目の野外炊飯は役割を決め、全員で協力して焼きそば、焼き肉づくりを楽しみました。

1校時の「朝の運動」では、正門向かい側の農道1.2kmのコースのランニングに取り組んでいます。毎回、タイムを計り、最も大きく記録更新できた生徒に金メダルが授与されます。これまで体を動かすことを苦手としていた生徒も、友達が全速力で走る姿をお手本にしたり、お互いに競い合ったりするなかで、意欲的に運動する姿がみられるようになってきました。



朝の運動の様子

## <高等部>



いなっ子カフェの様子

いなっ子まつりで行った「いなっ子カフェ」では、感染症対策を考え、テイクアウトにしたり、接客時にフェイスシールドをしたりしながら販売活動を行いました。

今、自分達にできる方法を考え、来校された方々に笑顔を届けることができました。

修学旅行は、栃木方面に行ってきました。日光東照宮の見学をするにあたって、徳川家とゆかりのある猪苗代町内の土津神社について学習し、見学先とこの地域とのつながりを知ることができました。

当日は事前に学んだことを踏まえて、真剣にガイドの方の話に耳を傾けていました。



修学旅行の様子

## 地域につなげる・つながる取り組み

進路情報を分かりやすくお伝えし、卒業後の生活を考えた進路相談を計画的に進めています。

10月には先輩の話聴く会を行い、中学部、高等部の生徒が先輩の話に耳を傾けました。

中学部の生徒は、他にも校外実習見学会(11月)などによって、早くから仕事に関心や意欲を高めています。

高等部では、夏休みに進路相談会を行いました。保護者による実習見学会(11月)や進路セミナー(12月)など、卒業後の生活をお伝えし、考える機会を設けています。



先輩の話聴く会の様子

関係機関と連携を図りながら、生徒に合わせて、校内実習や校外実習を行っています。



校内実習(リサイクル作業)

中学部、高等部の生徒は6月と11月に校内実習を行います。11月には初めて「箸入れ」の作業を提供いただきます。

9月からは高等部3年生を対象に進路実現を目指して特別実習を行っています。



校内実習(菓子箱折り作業)



校外(特別)実習の様子

子供達や保護者のニーズに応じて、保護者の方同士が情報交換をし合える「はあとふるタイム」や教育相談を行っています。

地域支援センター「はあとふる」では、会津地区、南会津地区の児童生徒に関する相談支援や先生方への研修支援を行っています(幼保1件、小学校15件、中学校2件、高等学校3校、その他1件)。

校内では、「はあとふるタイム」を実施し、本校保護者には子育てなどに関する情報交換会、本校教員には教育相談の実践力向上を目的に講義や演習の勉強会を実施しました。

いなっ子セミナーを行い、良い授業づくりに生かしました。

今年度は本校教員のみを対象としたリモート講演会を7月に実施しました。講師の下山直人先生(筑波大学人間系教授、筑波大学附属桐が丘特別支援学校長)から、自立活動の課題を意識した授業づくりについて詳しいお話をうかがいました。



リモートによる講演会の様子

## 命を守るための教育

保護者やばんだい荘と協力し、児童生徒の安全を守ったり、問題に積極的に対応したりしています。

毎日、保護者やばんだい荘の職員と登下校時の引き継ぎや連絡帳などを通し

て情報交換を行っています。

教員間でも共通理解を図るために連携を取り、児童生徒の情報交換する場を設け、全職員で支援にあたる意識をもって怪我や事故等の未然防止に努めています。



引き継ぎの様子

自分や他者を大切に思う気持ちを育てるとともに命の尊さを伝え、いじめを許さない姿勢で指導しています。

学部集会などでは、「人を思いやること」について、みんなで考え、何気ない一言が相手を傷つけてしまうことがあることが分かりました。

日頃から相手の立場に立って考えることも大切であるということを伝えています。

高等部では、「先生と話そう」を設け、生徒からの相談も随時受け付けています。



定期相談の案内

自分手帳を活用して、生活習慣の改善と健康づくりに取り組んでいます。

発育測定で測定した体重を記録しました。測定の際に自分手帳を持参し、自分の記録を記入することができた児童もいます。

高等部では、保健体育で取り組んだ体力テストの成績を記録しました。

11月の「朝食を見直そう週間運動」では、自分手帳を活用して、食生活について考える機会を設ける予定です。



自分手帳に記録しました

災害に対する備えや避難訓練を行いました。



避難訓練の様子

今年度はPTA会計において備蓄食購入のための予算を計上し、昨年度に続き、備蓄食の購入を進めています。

近年多発している土砂災害に関する対応マニュアルの整備も行いました。

火災や地震、噴火を想定した避難訓練を行い、ばんだい荘、保護者の協力を得て、引き渡し訓練も行うことができました。

## － 今年度のトピックス －

今年度は学校経営・運営ビジョンの取り組みとして紹介しきれない出来事がたくさんありました。今年度のトピックスとして学校の取り組みを紹介します。

### 臨時休業でも学び続けることを考えました。

突然の臨時休業は学校も大変戸惑いました。

当初から希望する児童生徒には学習プリントなどを提供していましたが、小学部では家庭でも運動ができるように手作りの DVD を配付したり、5月には「家庭学習応援サイト」を設けて、動画で学習できる環境を整備したりしました。

学校再開後は、文部科学省や県の通知をもとに、感染症対策を何度も見直しながら、何ができるか、どうしたらできるか、児童生徒、教職員一同真剣に考え、充実した学習ができるよう、様々な工夫をしています。



裏磐梯への修学旅行(中学部)

### 教育活動後援会が設立しました。

猪苗代町商工会、猪苗代ロータリークラブ、猪苗代ライオンズクラブ、猪苗代青年会議所など、地域の各団体の皆様のお力を借りて、無事、教育活動後援会が設立されました。

これにより、保護者の皆様をはじめ、地域の各企業の皆様が会員となってくださり、集まった会費は大切に教育活動に活用させていただきます。

7月には、パースふくしま様から寄付もいただきました。



## 共生社会ホストタウン事業に参加しました。

猪苗代町では、東京オリンピック・パラリンピックにおいてガーナ共和国のホストタウンに登録されていることを契機に、共生社会を目指し、障がいのある人もない人も暮らしやすいまちづくりを広めていこうとする事業が行われています。

ガーナ共和国の選手を迎えるにあたり、さまざまな企画が実施されました。

### <花アート>

猪苗代町内の学校、施設などとの共同制作を行いました。花の写真になっているシールを磐梯山、猪苗代湖が描かれた風景画に自由に貼り付けました。

活動の様子はテレビ局の取材を受け、放送されました。

完成した作品はウォールアートフェスティバルにおいて、JR猪苗代駅などに展示予定です。



### <ガーナ共和国国歌歌唱>

音楽の時間を中心に、英語の歌詞でガーナ共和国の国歌を練習しました。国歌だけでなく、楽器演奏や国旗を表現するなどの活動も取り入れ、小学部、高等部の児童生徒が合同で披露しました。



### <応援メッセージ>

ガーナ共和国の選手に向けて、応援ボードと共に「がんばれー」と応援メッセージを送りました。国歌の歌唱と共にその様子は撮影され、選手の皆さんに届けられます。

